作成日：2026 年 7 月 7 日

2018 年 4 月から 2025 年 3 月までに（一財）日本予防医学協会で健康診断を受診された方へのお知らせ

産業医科大学では、以下の研究を実施しております。この研究は、健康診断データを用いて、受診者の主観的な咀嚼状態が全身の症状（バイオマーカー含む）とどのように関連しているかを調査しています。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和 3 年 3 月 23 日制定　令和 3 年 6 月 30 日施行)」により、対象となる患者さんのお一人おひとりから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するとともに、参加拒否の機会を保障することとされています。本研究に関するお問い合わせ、また、ご自身の情報が利用されることを了解されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。

１．研究課題名

日本予防医学協会が保有する健康データの記述統計及び解析
～産業歯科保健データに関する後ろ向き研究～

２．研究期間

2026 年 3 月 17 日～2028 年 3 月 31 日

３．研究機関

産業医科大学　産業生態科学研究所　人間工学研究室

４．研究責任者

産業医科大学　産業生態科学研究所　人間工学研究室　講師　谷　直道

５．研究の目的と意義

この研究は、健康診断（健診）を受診した方の主観的な咀嚼状態が各種健診結果や問診表の回答などの全身的な症状とどのように関連しているかを明らかにすることを目的に、長期に渡る健診データを分析する疫学的な研究です。

近年、口腔衛生上の問題（むし歯や歯周病など）による噛みにくさ（咀嚼不良状態）が生活習慣病の発症や重症化と関連していることが報告されるようになりました。しかしながら、これらの報告は単年度のデータを使用した研究によるものが多く、長期間にわたるデータを使用した研究はありません。

この研究を行うことで、噛みにくさを自覚している方の全身の健康状態を把握す

ることができるだけでなく、複数年のデータを分析することによって、疫学的な因果関係をより明確にすることができます。

６．研究の方法

健診データ情報は一般財団法人日本予防医学協会の施設健診、巡回健診で収集されたバイオマーカー、問診票の回答などを解析に用いて、咀嚼状態（良好もしくは不良）が全身の健康状態にどのように関わっているかを調査します。

７．個人情報の取り扱い

個人情報の公開はいたしません。データの解析の際には対象者を特定できないように氏名、住所などの個人情報を全て匿名化します。

この研究は既存の情報を利用するため、対象者からのインフォームド・コンセントは必ずしも必要ではありませんが、研究参加の拒否は自由です。研究への参加にご同意いただけない方は下記問い合わせ先にご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。

８．得られた情報の利用目的の範囲

・学術発表など研究目的：あり
・第三者提供：あり（但し、論文投稿雑誌の要求がある際に限る）
・海外への提供：あり（但し、論文投稿雑誌の要求がある際に限る）
・公的データベース等への登録：なし

９．問い合わせ先

産業医科大学　産業生態科学研究所　人間工学研究室　講師　谷　直道
（TEL：093-691-7458）

10．その他

本研究に参加することによる直接的な利益はありません。また経済的負担や謝礼もありません。本研究は本学の講座研究費により、本学の研究責任者のもとで公正に行われます。本研究の利害関係については、産業医科大学利益相反委員会の承認を得ており、公正性を保ちます。